様式第３号

準半壊以上の記載例

【記入例】修 理 見 積 書

（ 全壊 ・ 大規模半壊 ・ 中規模半壊 ・ 半壊 ・ 準半壊 ）

※ 市町が発行する「り災証明書」等に基づき、該当する被害の程度に〇をつけてください。

見積金額（総工事費）　450,000 円（消費税込）

☑ 「住宅の応急修理」申込関係

見積金額（応急修理分）（※1）　348,000 円（消費税込）

見積金額（被災者負担分）　102,000 円（消費税込）

例では、応急修理対象分の金額は45万円だが、限度額34.8万円を超えることから、34.8万円を記載する。

工事名称	金　額（消費税込）	内訳（応急修理対象分）（※2）	備考
① 窓工事（サッシ交換）	100,000 円	0,000 円	
② 壁工事（下地・断熱材補修）	150,000 円	0,000 円	
③ 床工事（床下断熱・下地板、床板交換）	200,000 円	3,000 円	
④	円	― 円	
⑤	0 円	― 円	
⑥	0 円	0 円	
合　計	**450,000 円**	**348,000 円**	

※１ １世帯あたりの限度額を超える場合は、限度額を記載すること
＜限度額＞全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊の場合：717,000円の範囲内
準半壊の場合：348,000円の範囲内

※２ 「うち応急修理対象分」欄の金額が、限度額を超える場合、限度額を超える部分についての同欄の記載は「-」としてよい

※３ 上表の内訳を添付（修理業者指定の様式で可。）すること

〇〇〇市町長　様

（※修理業者記入）上記のとおり見積書を提出します。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住　所	□□□県〇〇〇市〇〇〇　△－△－△
会社名	〇×〇×工務店
電話番号	＊＊＊－＊＊＊－＊＊＊＊
代表者名	〇　〇　〇　〇

（※修理申込者記入）上記の見積書を確認しました。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

住　所	〇〇市〇〇　□―□－□
氏　名	〇　〇　〇　〇

（※市町記入欄）

市町名	受付番号	受付担当者名